

『 場面別評価基準表 』 (担当教師用手持ち資料)

各校の実情に応じて、下記【 使用例 】を参考に、場面や評価基準を変えて御活用ください。

【 使用例 】

- 1 自作プリントにコピー&ペーストして使用する。
- 2 ノートや問題集に添付して使用する。
- 3 評価基準は5段階で作成されているが、基準を三つに絞り3段階にして使用することも可能である。

【 対応ページについて 】

目次	・・・	1
作成手順	・・・	2
小テスト	・・・	5
ノート	・・・	6
問題集	・・・	7
スピーチ	・・・	8
プレゼンテーション	・・・	9
グループワーク	・・・	10
レポート	・・・	11
作品制作	・・・	12
ワークシート	・・・	13
発言	・・・	14
実技	・・・	15
定期考査範囲	・・・	16

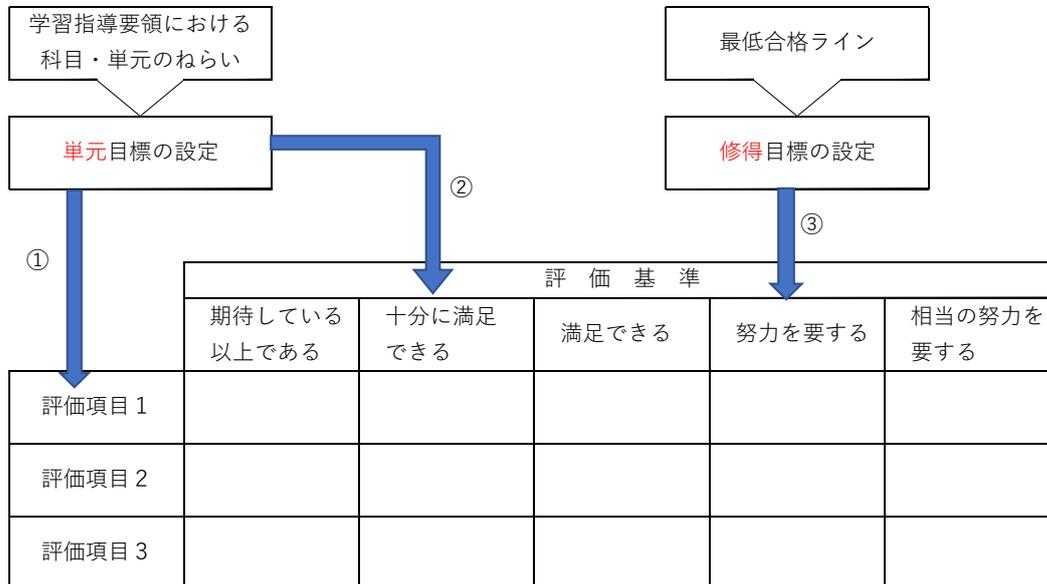
【 目次 】

	A	B	C	D	E	F
1						
2		場面別評価基準表 目次				
3						
4		分類	リンク			
5		作成手順	手順			
6		小テスト	作成例	ひな形		
7		ノート	作成例	ひな形		
8		問題集	作成例	ひな形		
9		スピーチ	作成例	ひな形		
10		プレゼンテーション	作成例	ひな形		
11		グループワーク	作成例	ひな形		
12		レポート	作成例	ひな形		
13		作品制作	作成例	ひな形		
14		ワークシート	作成例	ひな形		
15		発言	作成例	ひな形		
16		実技	作成例	ひな形		
17		定期考査範囲	作成例	ひな形		

クリックすると、該当ページを閲覧することができます。

【 作成手順 】

1. 作成手順



2. 評価基準について

	単元目標を越えたレベルを達成している	単元目標を達成している	単元目標と修得目標の間にあるレベルを達成している	修得目標を越えたレベルを達成している	修得目標を達成できていない
評定	5	4	3	2	1
レベル	S	A	B	C	D
言葉	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する

一時的に生徒に示す評価
A
B
C

3. 評価項目について

①授業のねらいや単元の目標から評価項目を設定する。

	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
表計算ソフトの利用技術					
ワープロソフトの利用技術					

②評価項目から単元目標を設定する。

	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
表計算ソフトの利用技術		関数を適切に利用して情報をまとめることができる			
ワープロソフトの利用技術		一連のビジネス文書を作成することができる			

設定手順：(1)主語は生徒とし、資質・能力を「～できる」という表現で表す。

※授業・単元の目標やねらいと対応させること。

(2)評価できる資質・能力を一文で表現する。

※一つの文章に一つの目標を書く。

(3)資質・能力は客観的に判断できる行為動詞で表現する。

※「理解する」のような概念的な表現ではなく、観察可能な動詞で表現する。

動詞例：説明する 述べる 予測する 批判する 評価する 例を挙げる
 比較する 解釈する 結論する 使用する 種別する 関係づける
 参加する 行う 見せる 示す 始める 配慮する
 表現する 強調する 寄与する 反応する 発表する 作成する
 工夫する 準備する 測定する 動かす 実施する 調べる
 操作する 感ずる 模倣する まとめる

使用例：～を説明することができる

③修得目標を設定する。

	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
表計算ソフトの利用技術		関数を適切に利用して情報をまとめることができる		表計算ソフトを利用することができる	
ワープロソフトの利用技術		一連のビジネス文書を作成することができる		レポートを作成することができる	

④残りの評価基準を設定する。

	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
表計算ソフトの利用技術	関数を組み合わせせえたり、工夫することができる	関数を適切に利用して情報をまとめることができる	適切な関数やグラフを利用することができる	表計算ソフトを利用することができる	表計算ソフトを利用することができない
ワープロソフトの利用技術	機能を有効活用し、素早い文書作成ができる	一連のビジネス文書を作成することができる	表や画像の挿入をすることができる	レポートを作成することができる	十分なレポートを作成することができない

十分に満足できるより上の内容を考える

十分に満足できるより下で、かつ、努力を要するより上の内容を考える

努力を要するより下の内容を考える

4. その他

(1) 試験問題の範囲を示す

		評価基準				
		期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px;"> 単元名 1 (30%) 単元名 2 (40%) 単元名 3 (30%) </div>						

単元の重要さを伝え、基準がない箇所は空欄もしくは斜線
 それぞれの項目の単元目標と修得目標を設定することで勉強の方向性を指示することができる

(2) 小テストを定期的に評価する

		評価基準				
回数	日付	9～10点	7～8点	5～6点	3～4点	1～2点
1	月 日	○		↑ 評価を点数に変更してもよい		
2	月 日		○			
3	月 日		○			
4	月 日		↑ チェックして返却すると 学習意欲向上につながる			
5	月 日					

(3) ノートを定期的に評価する

		評価基準				
回数	日付	板書以外のポイントもノートに記述しまとめている	適切にかつ丁寧にノートをとっている	丁寧に板書を写している	板書事項を十分にノートにとれていない	ノートをとることができない
1	月 日	○		↑ 評価を変更してもよい		
2	月 日	↑ チェックして返却すると 学習意欲向上につながる	○			

(4) 資格試験のように与えられた問題を解く能力を身に付けることを目的とした授業

		評価基準				
		期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
問題を解く力	解き方を他の生徒に説明することができる	独自の力でほとんどの問題を解くことができる	高度な問題を除き、独自の力で解くことができる	教科書を参照すれば、ほとんどの問題を解くことができる	助力がないと問題を解くことができない	

小テスト

年	組	番	氏名
---	---	---	----

		評 価 基 準				
回数	日付	期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1	月 日					
2	月 日					
3	月 日					
4	月 日					
5	月 日					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												
23																												

ここに科目名を入れる

小テスト
作成例

点数表記でもよい

単元名でもよい

単元名でも
よい

列幅や表記は学校
の実情に合わせて

ノート

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価基準						
回数	日付	板書事項以外のポイントや疑問点なども書き加えることができる	板書事項を整理して見やすく写すことができる	板書事項を写すことができる	板書事項を十分に写すことができない	板書事項を写すことができない
1	月 日					
2	月 日					
3	月 日					
4	月 日					
5	月 日					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
1	(ここに科目名を入れる)																											
2																												
3	ノート																											
4	作成例																											
5																												
6																												
7	評価基準																											
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												
23																												
24	(使用例)																											
25	・ ノートに添付する																											
26	・ 考査毎に回収し、評価を返却することで、生徒への改善点が明確となる																											
27																												

問題集

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価基準						
回数	日付	解説や疑問点を書き加えるなど、学習に対して工夫が見られる	示された範囲の問題を丁寧に解くことができる	示された範囲の問題を解くことができる	示された範囲の問題を十分に解くことができない	示された範囲の問題を解くことができない
1	月 日					
2	月 日					
3	月 日					
4	月 日					
5	月 日					

.....

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												
23																												
24																												
25																												
26																												
27																												

(ここに科目名を入れる)

問題集
作成例

年 組 番 氏名

評価を変更してもよい

評価基準

解説や疑問点を書き加えるなど、学習に対して工夫が見られる

示された範囲の問題を丁寧に解くことができる

示された範囲の問題を解くことができる

示された範囲の問題を十分に解くことができない

示された範囲の問題を解くことができない

(使用例)

- ・問題集に添付する
- ・考査毎に回収し、評価を返却することで、生徒への改善点が明確となる

実施日 令和 年 月 日 ()

スピーチ

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目		評価基準				
		期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1	内容	テーマに沿う形で論点を明確にし、非常に興味深い内容を設定することができる	テーマに沿う形で論点を明確にし、興味深い内容を設定することができる	テーマに沿う形で意見を述べる ことができる	テーマとの関連性は認められるが、意見を明確に述べる ことができない	テーマに沿う形で意見を述べる ことができない
2	構成	話の構成を工夫することができ、次の目標につながる新たな課題を発見することができる	自分の考えが明瞭になるように論理の展開などに注意をして話の構成を工夫することができる	全体を通して、筋道を立てて話すことができる	全体を通して、一部筋道を立てて話すことができる	自分の考えを筋道を立てて話す ことができない
3	表現力	目線や話の抑揚などの効果的な表現力を伴い、聞き手に熱意が伝わるように話すことができる	目線や話の抑揚などを意識することができ、語りかけるように話すことができる	アイコンタクトを取りながら聞き手に伝わるように話すことができる	聞き手に伝わるように話すことができる	聞き手に伝わりにくい
メモ						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	(ここに科目名を入れる)		実施日		令和		年		月		日		()													
3	スピーチ		年		組		番		氏名																	
4	作成例																									
5																										
6																										
7	評価項目		評価基準																							
8			期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する																			
9			5	4	3	2	1																			
10	1	内容	テーマに沿う形で論点を明確にし、非常に興味深い内容を設定することができる	テーマに沿う形で論点を明確にし、興味深い内容を設定することができる	テーマに沿う形で意見を述べる ことができる	テーマとの関連性は認められるが、意見を明確に述べる ことができない	テーマに沿う形で意見を述べる ことができない																			

点数表記可

実施日 令和 年 月 日 ()

プレゼンテーション

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目		評価基準				
		期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
1	内容	テーマに沿う形で論点を明確にし、非常に興味深い内容を発表することができる	テーマに沿う形で論点を明確にし、興味深い内容を発表することができる	テーマに沿う形で発表することができる	テーマとの関連性は認められるが、内容を明確に発表することができない	テーマに沿う内容を発表することができない
2	構成	内容をより明瞭にするため、論理の展開などに注意して話の構成を工夫することができる	全体を通して、筋道の立った順序で明瞭に話すことができる	全体を通して、筋道の立った順序で話すことができる	全体を通して、一部筋道の立った順序で話すことができる	筋道の通る順序で話すことができない
3	表現力	豊富な語彙、適度な間、話の抑揚などの表現力にあふれ、聞き手に熱意が伝わるように話すことができる	身振り手振りを効果的に使い、語りかけるように話すことができる	アイコンタクトを取りながら、聞き手に伝わるように話すことができる	原稿を見ながら、聞き手に伝わるように話すことができる	聞き手に伝わりにくい
4	スライド	配置や余白などにも気を配り、聞き手が内容を理解しやすいような細かい配慮をすることができる	図や表、グラフなどを効果的に使用し、聞き手が内容を理解しやすいような工夫をすることができる	文字のサイズや色などを工夫し、図や表、グラフなどを取り入れることができる	強調部分の文字のサイズや色など、聞き手の注意を引くような工夫をすることができる	記載内容が乏しく、伝えたい内容をわかりやすく示すことができない
メモ						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										

点数表記可

評価を変更してもよい

実施日 令和 年 月 日 ()

グループワーク

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目	評価基準				
	期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1 思考力	多数の情報を分析し、物事の関係性を理解しながら多面的・客観的に考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を複数の側面から深く考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を一つの側面から考えることができる	情報を分析することができる	情報を分析することができない
2 協調性・発信力	話しやすい状況を作り、傾聴と発信のバランスを取りながら全体の意見をまとめようと意識することができる	話しやすい状況を作ることを意識し、他者の意見を踏まえた上で自分の意見を述べることができる	話しやすい状況を作ることを意識し、自分の意見を述べることができる	自分の意見をまとめることができる	他者の意見に耳を傾けようとしていない
3 計画性	具体的な計画を立て、実行することができる	具体的な計画を立て、自ら行うべき内容を明らかにできる	課題解決に向けて、大まかな計画を立てることができる	課題解決に向けたプロセスを考え、計画を立てようとしている	課題解決のための計画を立てることができない
4 役割分担	自分の役割に責任を持ち、更にグループ全体を見て積極的に行動することができる	自分の役割の果たすべきことを理解し、行動することができる	自分の役割の果たすべきことを理解し、参加する意識をもつことができる	自分の役割（リーダー、書記、タイムキーパーなど）を認識することができる	自分の役割を認識することができない
メモ					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	(ここに科目名を入れる)								実施日	令和	年	月	日	()												
2																										
3	グループワーク								年	組	番	氏名														
4	作成例																									
5																										
6																										
7																										
8			評価基準																							
9			期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する																			
10	1	思考力	多数の情報を分析し、物事の関係性を理解しながら多面的・客観的に考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を複数の側面から深く考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を一つの側面から考えることができる	情報を分析することができる	情報を分析することができない																			

点数表記可

評価を変更してもよい

実施日 令和 年 月 日 ()

レポート	年	組	番	氏名
------	---	---	---	----

評価項目		評価基準				
		期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1	内容	テーマに沿う形で調べたことや学んだことから新たな課題へとつなげることができる	テーマに沿う形で調べたことや学んだことを詳しく述べることができる	テーマに沿う形で調べたことや学んだことを述べることができる	テーマと意見との関連性が認められる	テーマに沿う形で意見を述べるできない
2	課題発見	与えられたテーマに沿った的確な問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を述べるができる	与えられたテーマから問題を設定することはできるが、その問題を取り上げた理由や背景を述べるできない	与えられたテーマから問題を設定することができない
3	記述の書式	誤字脱字がなく、文体が統一されており非常に丁寧な字で記入をすることができる	誤字脱字がなく、丁寧な字で記入することができる	誤字脱字がなく、レポートを作成することができる	誤字脱字があるかまたは、文体の統一や書き言葉での記入ができない	誤字脱字があり、文体の統一や書き言葉での記入ができない
メ						
モ						

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1																										
2		(ここに科目名を入れる)							実施日	令和					年				月							
3		レポート																								
4		作成例								年		組														
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										

点数表記可

評価を変更してもよい

実施日 令和 年 月 日 ()

評価項目		評価基準				
		期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
1	テーマ設定	与えられた課題に沿った非常に興味深いテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を分かりやすく示すことができる	与えられた課題から興味深いテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を分かりやすく示すことができる	与えられた課題からテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を示すことができる	与えられた課題からテーマを設定することはできるが、そのテーマを取り上げた理由や背景を示すことができない	与えられた課題からテーマを設定することができない
2	独創性	自ら新たな視点で独創的なアイデアを提案することができる	自ら根拠に基づいたアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができる	他者のアドバイスがあればアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができない
3	思考力	多数の情報を分析し、物事の関係性を理解しながら多面的・客観的に考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を複数の側面から深く考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を一つの側面から考えることができる	情報を分析することができる	情報を分析することができない
4	完成度	これまでの知識・経験を活用し、作品に求められるものを自ら考え工夫し、的確に表現することができる	テーマを的確に解釈し、伝えたい内容を分かりやすく形にして提出することができる	テーマを的確に解釈し、伝えたい内容を形にして提出することができる	作品を提出したが、テーマに沿った表現をすることができない	作品を提出することができない
メモ						

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	(ここに科目名を入れる)		実施日	令和	年	月	日	()																	
3	作品制作		年	組	番	氏名																			
4	作成例																								
7	評価項目		評価基準																						
8			期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する																		
9			5	4	3	2	1																		
10	1	テーマ設定	与えられた課題に沿った非常に興味深いテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を分かりやすく示すことができる	与えられた課題から興味深いテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を分かりやすく示すことができる	与えられた課題からテーマを設定し、そのテーマを取り上げた理由や背景を示すことができる	与えられた課題からテーマを設定することはできるが、そのテーマを取り上げた理由や背景を示すことができない	与えられた課題からテーマを設定することができない																		

点数表記可

評価を変更してもよい

実施日 令和 年 月 日 ()

ワークシート

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
1 課題発見	与えられたテーマに沿った的確な問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を述べるることができる	与えられたテーマから問題を設定することはできるが、その問題を取り上げた理由や背景を述べるできない	与えられたテーマから問題を設定することができない
2 思考力	多数の情報を分析し、物事の関係性を理解しながら多面的・客観的に考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を複数の側面から深く考えることができる	テーマに沿って情報を分析し、物事を一つの側面から考えることができる	情報を分析することができる	情報を分析することができない
3 独創性	自ら新たな視点で独創的なアイデアを提案することができる	自ら根拠に基づいたアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができる	他者のアドバイスがあればアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができない
4 社会貢献	どのような社会が求められているのかを的確に分析し、これまでの知識・経験を活用し主体的に考え実行することができる	どのような社会貢献が求められているのかを分析し、貢献できることを深く考えることができる	どのような社会貢献が求められているのかを分析し、貢献できることを考えることができる	どのような社会貢献が求められているのかを分析することができる	どのような社会貢献が求められているのかを分析することができない
メモ					

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
2	(ここに科目名を入れる)									実施日	令和	年	月	日	()											
3	ワークシート									年	組	番	氏名													
4	作成例																									
5																										
6																										
7			評価基準																							
8	評価項目		期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する																			
9			5	4	3	2	1																			
10	1	課題発見	与えられたテーマに沿った的確な問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を分かりやすく述べることができる	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景を述べるることができる	与えられたテーマから問題を設定することはできるが、その問題を取り上げた理由や背景を述べるできない	与えられたテーマから問題を設定することができない																			

点数表記可

評価を変更してもよい

実施日 令和 年 月 日 ()

発言

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目	評価基準				
	期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1 理解度	自分の考えと他者の意見を比較し、新たな考えを分かりやすく述べることができる	自分の考えを根拠立てて述べることができる	自分の考えを他者に伝わるようになりやすく述べるができる	自分の考えを述べることができる	自分の考えを述べるができない
メモ					



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z				
1	(ここに科目名を入れる)								実施日	令和	年	月	日	()																
2																														
3	発言								年	組	番	氏名																		
4	作成例																													
5																								点数表記可						
6																														
7			評価基準																											
8	評価項目		期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する																							
9			5	4	3	2	1																							
10	1	理解度	自分の考えと他者の意見を比較し、新たな考えを分かりやすく述べるができる	自分の考えを根拠立てて述べることができる	自分の考えを他者に伝わるようになりやすく述べるができる	自分の考えを述べることができる	自分の考えを述べるができない																							
11	メモ																						評価を変更してもよい							

実施日 令和 年 月 日 ()

実技

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価項目	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
1 情報技術 (ワープロ、表計算、プレゼンソフト)	与えられた問題に対して、情報技術の応用的な操作を活用することができる	与えられた問題に対して、情報技術の基本的な操作を適切に活用することができる	与えられた問題に対して、情報技術の基本的な操作を活用することができる	情報技術の基本的な操作の習得に取り組んでいるが、支援なしにはできない	情報技術の操作の習得に取り組んでいない
2 情報活用能力	習得した各種ソフトウェアの知識・技術を用いて、自ら課題を発見し、効果的な解決方法を分析し、実行することができる	習得した各種ソフトウェアの知識・技術を用いて、自ら課題を発見し、解決方法を分析することができる	習得した各種ソフトウェアの知識・技術を用いて、与えられた課題に取り組むことができる	各種ソフトウェアの操作方法を習得することができる	各種ソフトウェアの操作方法を習得することができない
3 情報収集活用能力	インターネットを利用して収集した情報について、様々な問題発見・解決に活用することができる	インターネットを利用して収集した情報について、効果的に活用することができる	インターネットを利用して収集した情報について、必要に応じて整理して活用することができる	インターネットを利用して収集した情報について、そのまま利用することができる	インターネットからの適切な情報収集・活用に取り組んでいない
4 独創性	自ら新たな視点で独創的なアイデアを提案することができる	自ら根拠に基づいたアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができる	他者のアドバイスがあればアイデアを提案することができる	指示された範囲のアイデアを提案することができない
メモ					



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										

(ここに科目名を入れる) 実施日 令和 年 月 日 ()

実技
作成例

年	組	番	氏名
---	---	---	----

点数表記可

評価項目	評価基準				
	期待している以上である	十分に満足できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を要する
1 情報技術 (ワープロ、表計算、プレゼンソフト)	与えられた問題に対して、情報技術の応用的な操作を活用することができる	与えられた問題に対して、情報技術の基本的な操作を適切に活用することができる	与えられた問題に対して、情報技術の基本的な操作を活用することができる	情報技術の基本的な操作の習得に取り組んでいるが、支援なしにはできない	情報技術の操作の習得に取り組んでいない

評価を変更してもよい

定期考査範囲

年	組	番	氏名
---	---	---	----

範囲	評価基準				
	期待している 以上である	十分に満足 できる	満足できる	努力を要する	相当の努力を 要する
1					
2					
メモ					

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA				
1	(ここに科目名を入れる)																														
2																															
3	定期考査範囲								年		組		番		氏名																
4	作成例								年		組		番		氏名																
5																															
6																															
7																															
8																															
9	範囲		期待している 以上である					十分に満足 できる					満足できる					努力を要する					相当の努力を 要する								
10	1	項目A	60%																												
11																															
12	2	項目B	40%																												
13																															
14	メモ																														